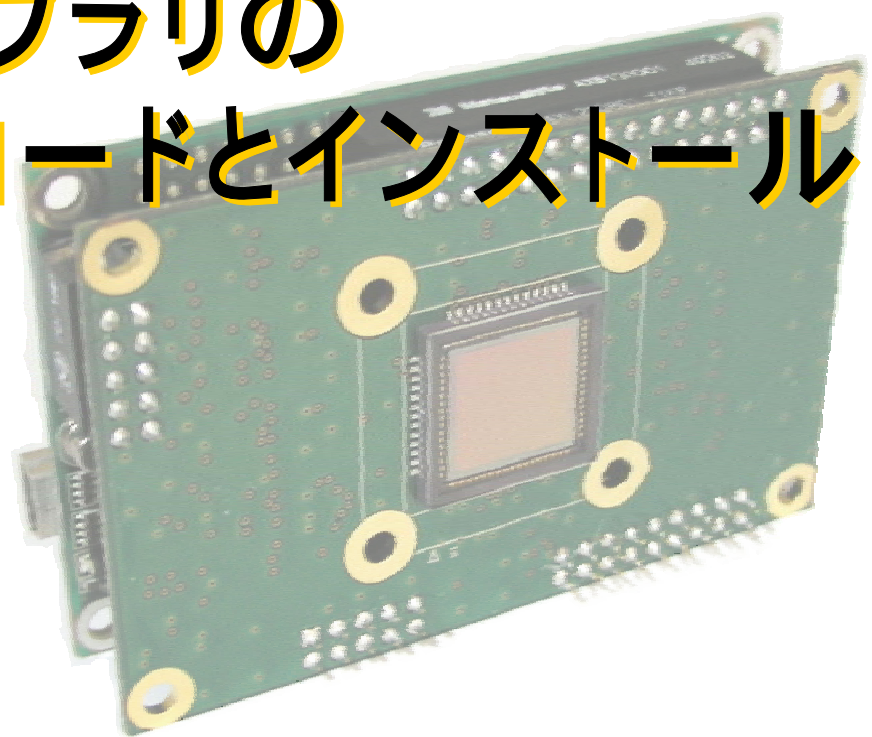
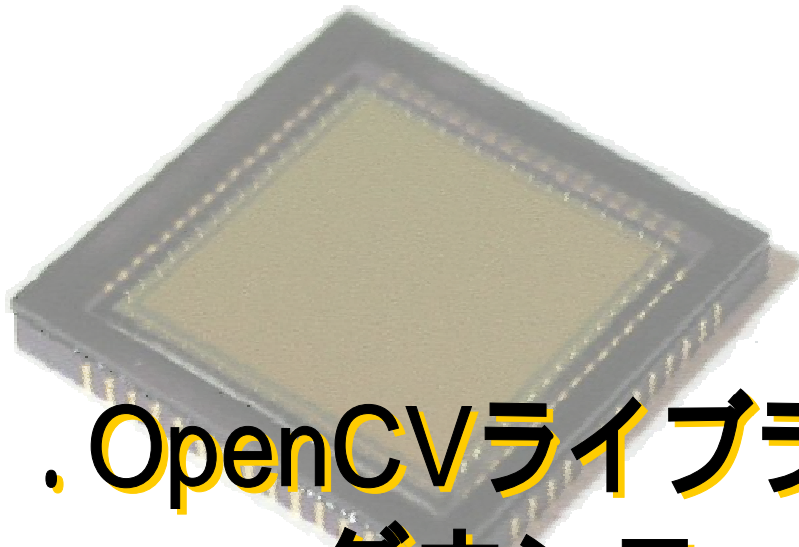




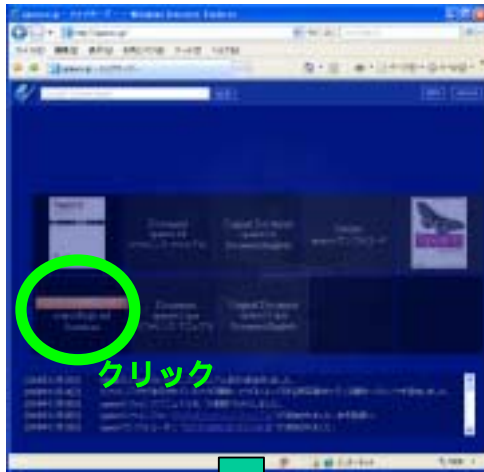
# ASPECTUSとOpenCVの 組合せ利用に関して

- 1 . OpenCVライブラリの  
ダウンロードとインストール
- 2 . Visual C++ の環境設定
- 3 . 組み込み関数「Builtin.dll」の作成
- 4 . サンプルプログラムの実行

# 1 . OpenCVライブラリの ダウンロードとインストール



http://opencv.jp



クリック

## (手順)

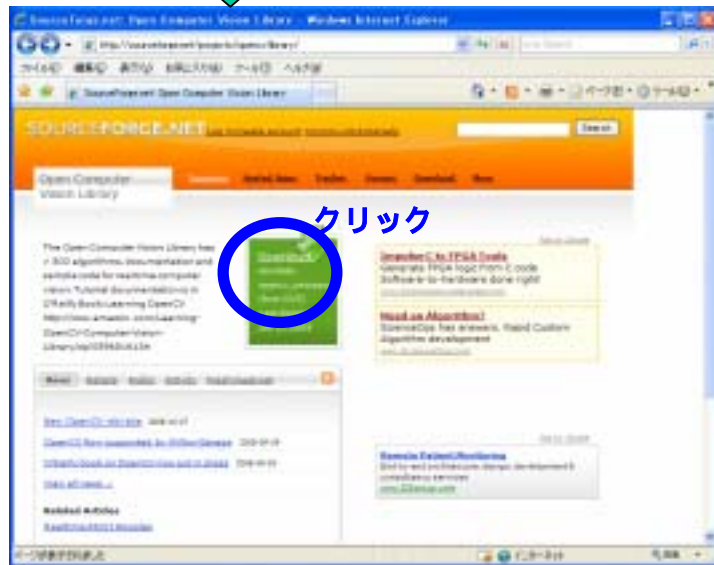
以下の順で、Webサイトを進んでください。

OpenCVの公式サイト <http://opencv.jp>

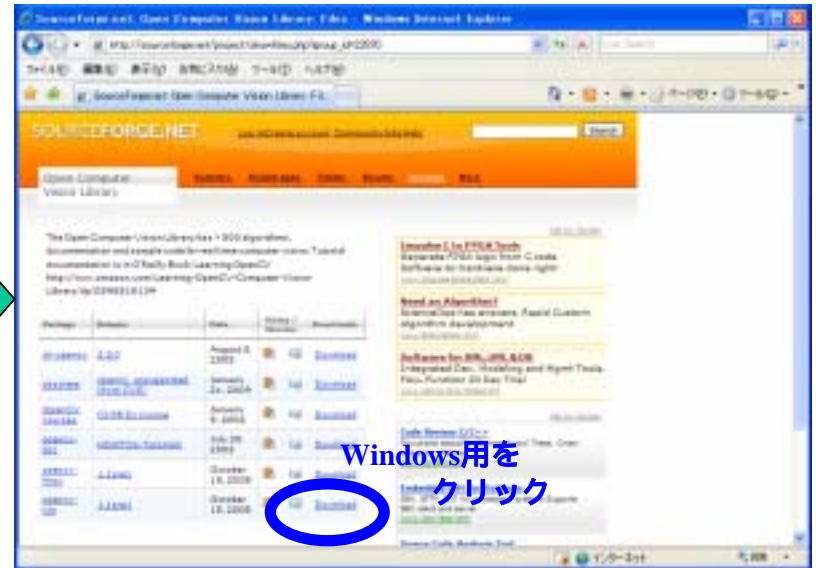
公式ダウンロードサイト

ご利用のOS (windows用) のパッケージを選択

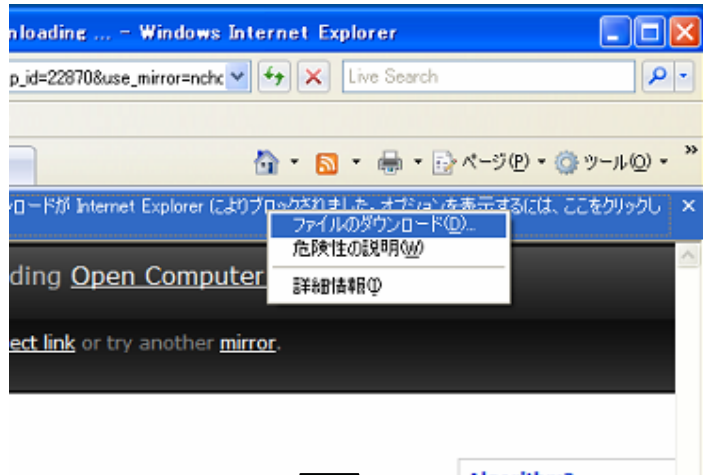
次ページへ



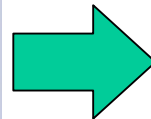
クリック

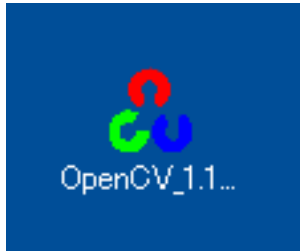


Windows用を  
クリック



**(手順)**  
 以下の順で、Webサイトを進んでください。  
 前ページ  
 “セキュリティ保護の警告”をクリック  
 ファイルのダウンロードを選択  
 指示に従って ” OpenCV\_1.1\*\*\*\*.exe” をダウンロード





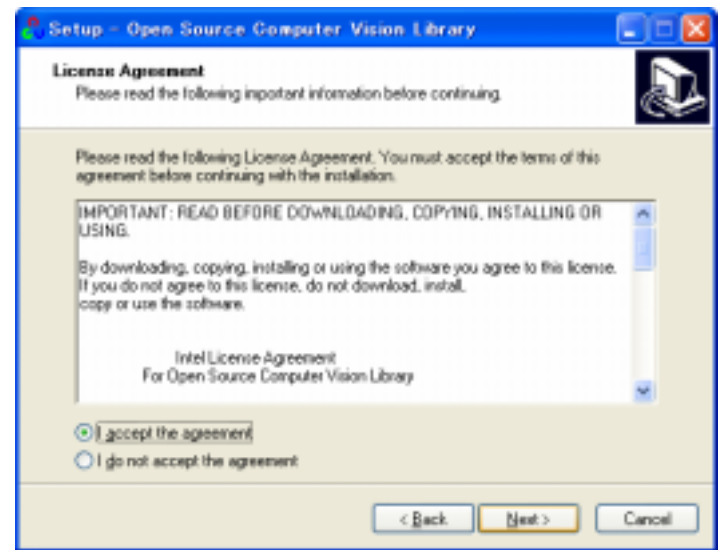
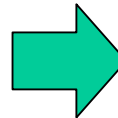
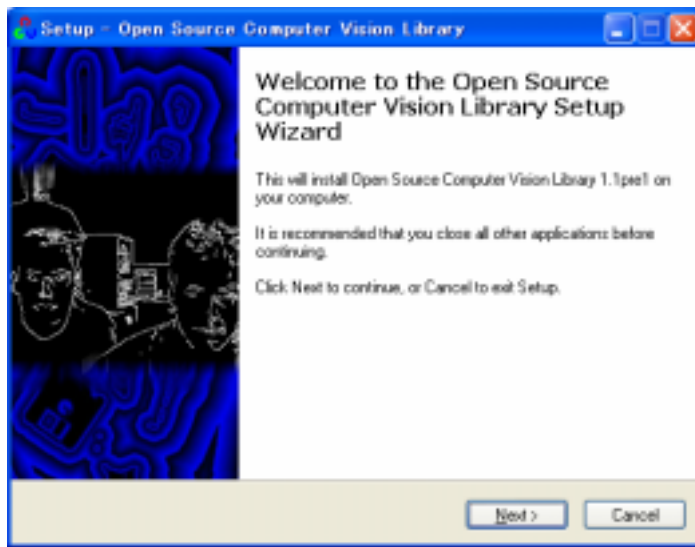
## 〈手順〉

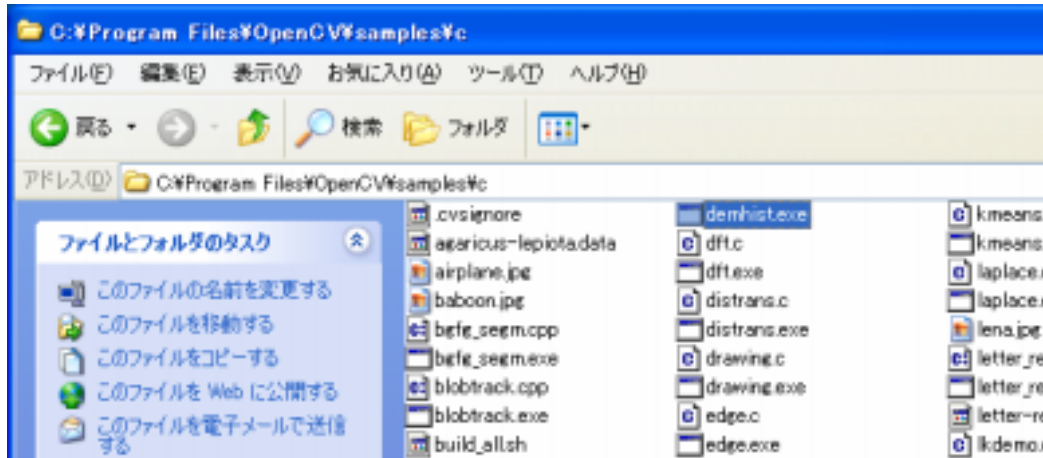
以下の順で、インストールを進めてください。

” OpenCV\_1.1\*\*\*\*.exe”を実行

ライセンスの確認

指示に従ってインストール



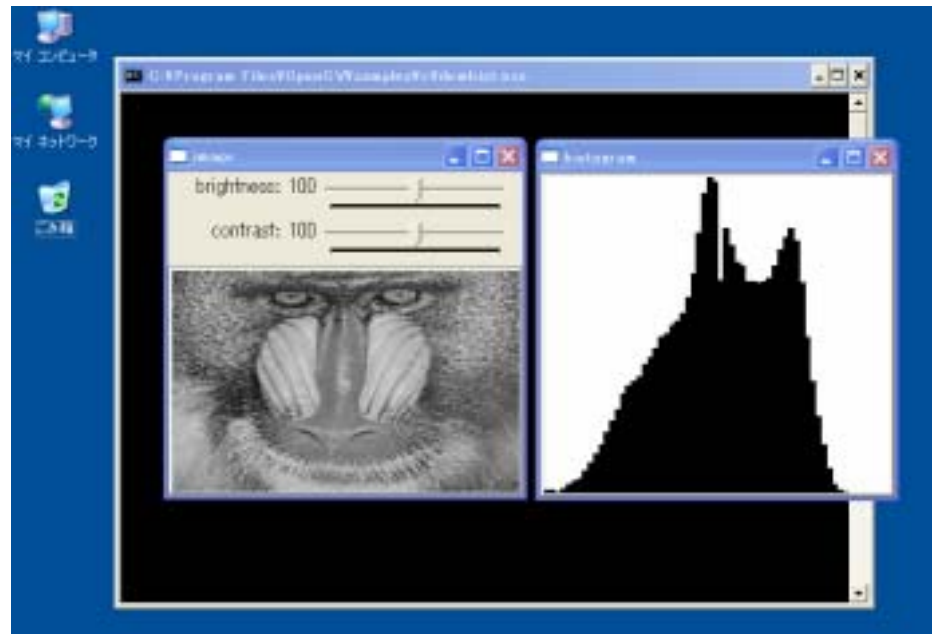
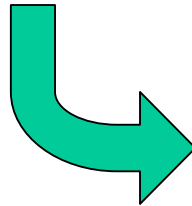


## 〈手順〉

以下の順で、動作確認してください。

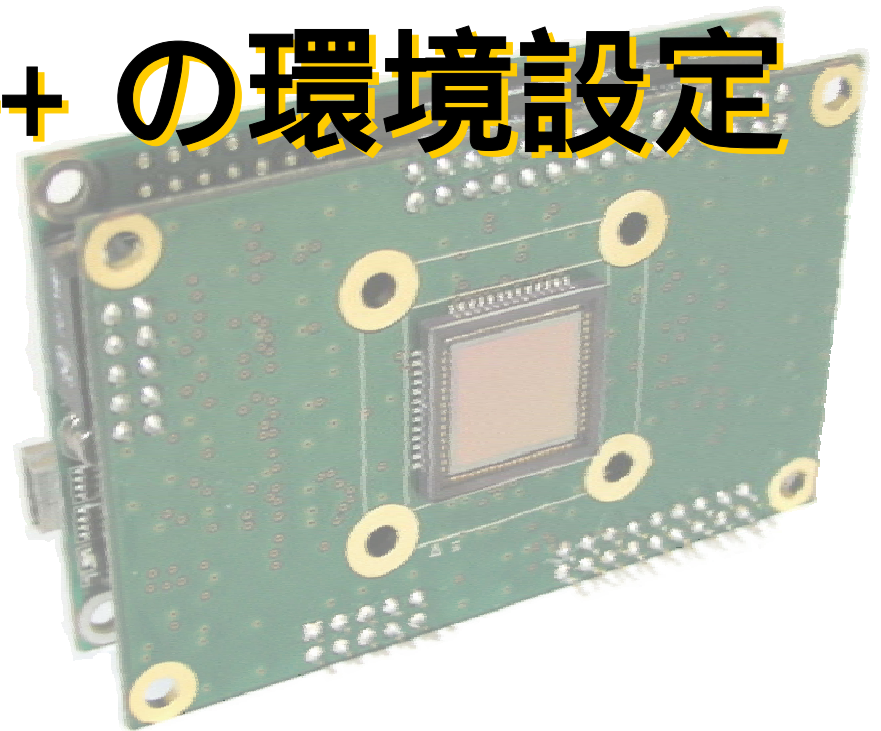
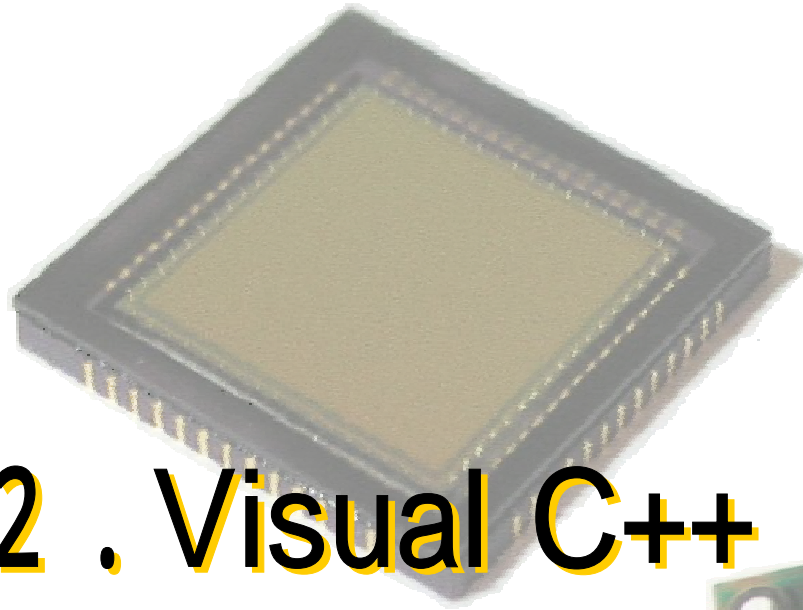
C:\Program Files\OpenCV\samples\c の demhist.exeを実行

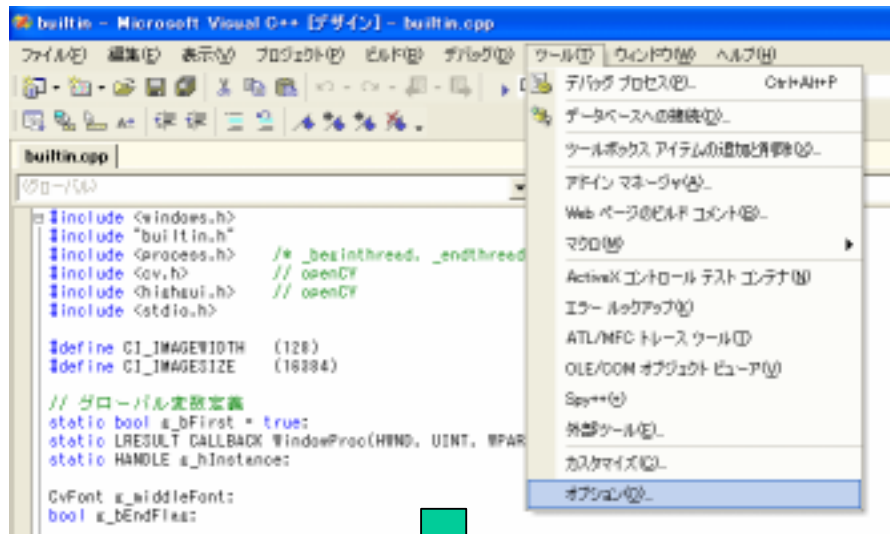
下図の様に表示されれば  
OpenCVのインストール成功



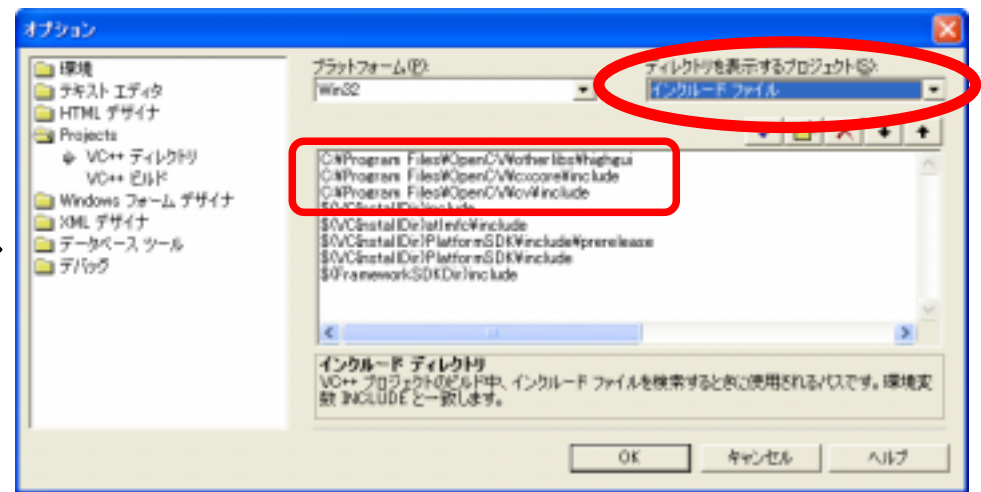
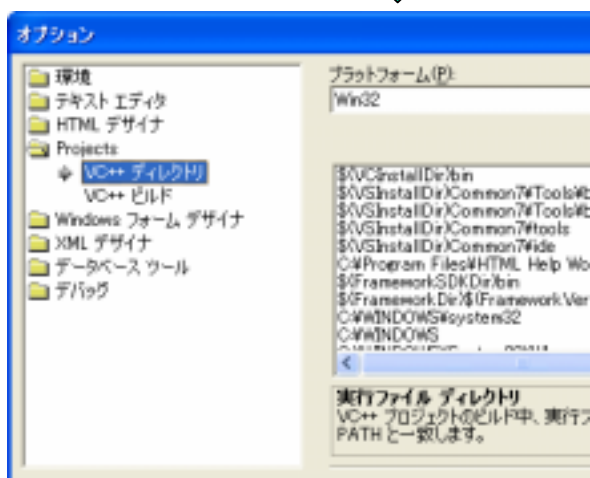
demhist.exeを実行しても右図の様に表示されない場合は、マイコンピュータ プロパティ 詳細設定 環境変数 と進み「Path」が C:\Program Files\OpenCV\bin に通っていることを確認してください。

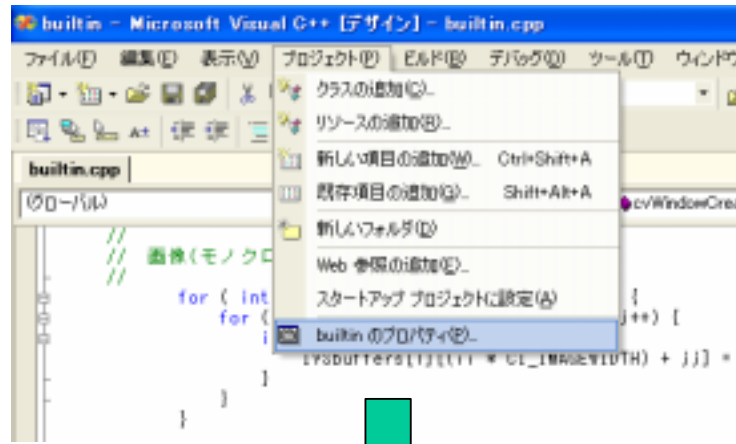
## 2 . Visual C++ の環境設定



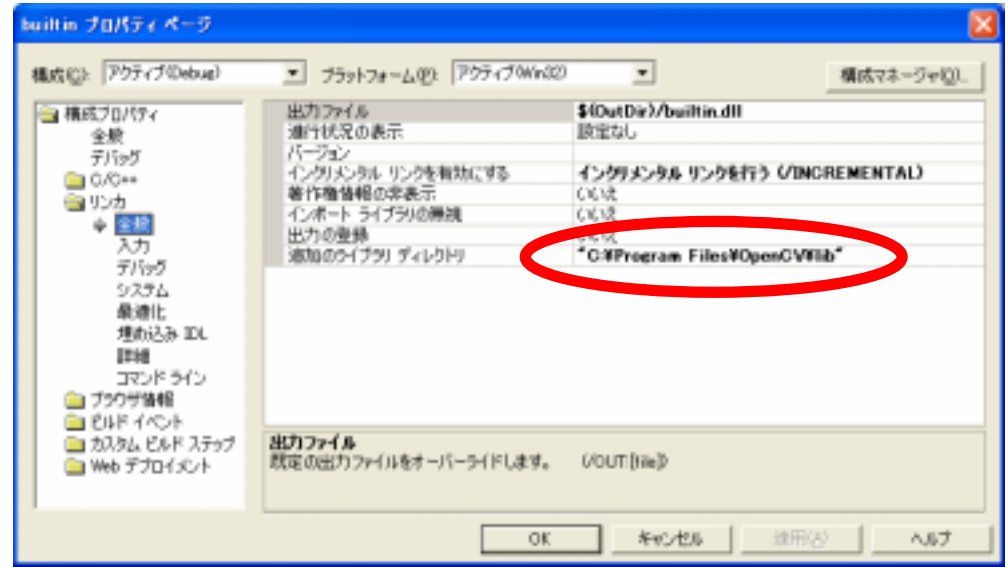
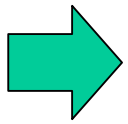
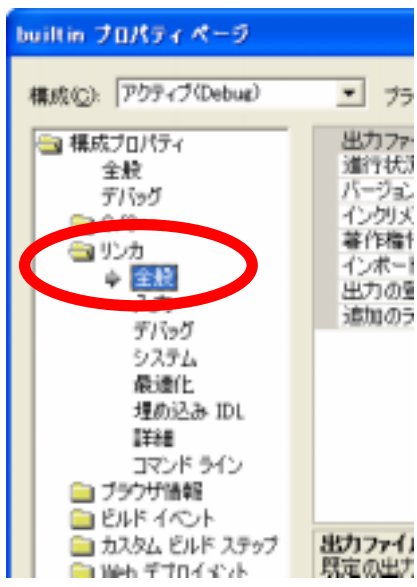


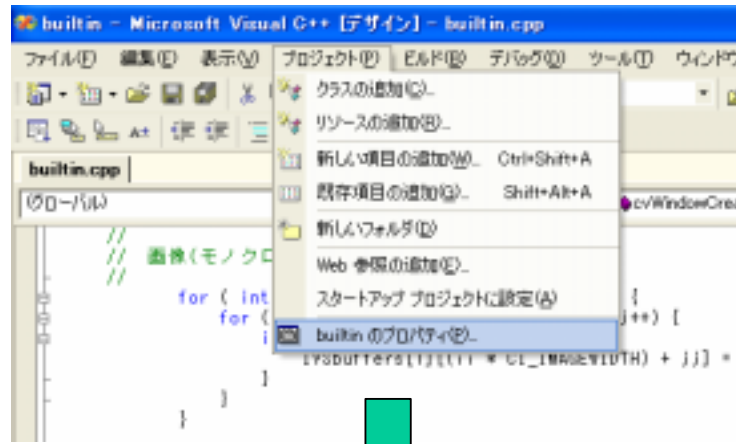
**〈手順〉**  
 以下の順で、設定してください。  
 “ツール” “オプション”と進み ダイアログを開く  
 オプションダイアログの“VC++ディレクトリ”を選択  
 “ディレクトリを表示するプロジェクト”の項目の  
 “インクルードファイル”を選択  
 次の3つを追加  
 C:¥Program Files¥OpenCV¥cv¥include  
 C:¥Program Files¥OpenCV¥cxcore¥include  
 C:¥Program Files¥OpenCV¥otherlibs¥highgui



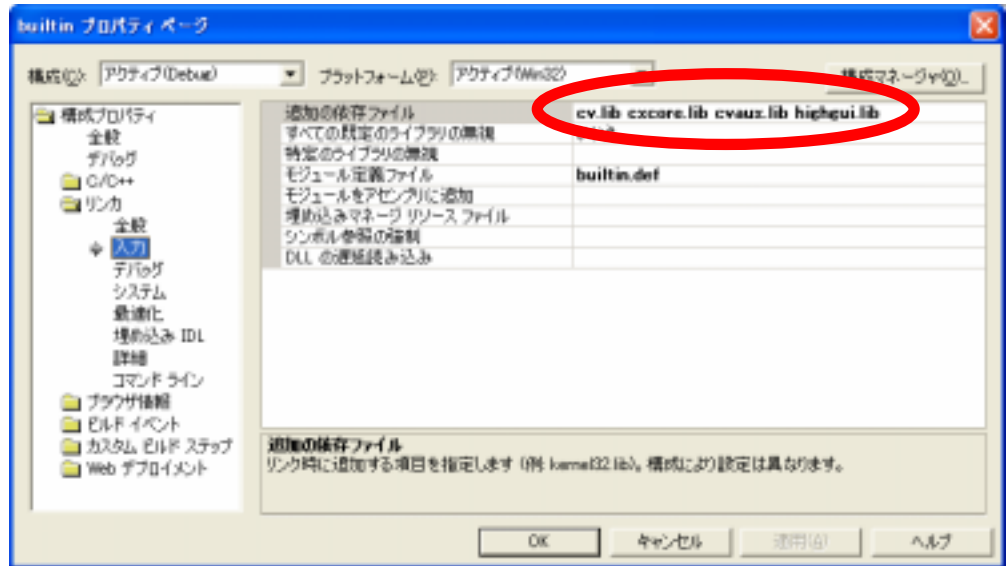
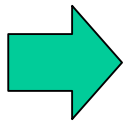
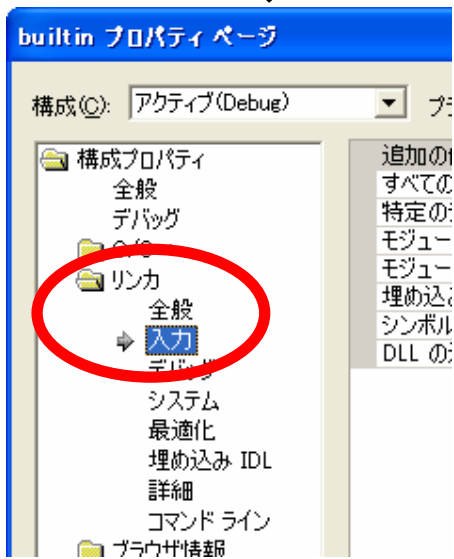


**(手順)**  
 以下の順で、設定してください。  
 “プロジェクト” “プロパティ”と進み ダイアログを開く  
 “リンカ”の“全般”を選択  
 “追加のライブラリ ディレクトリ”に  
 C:\Program Files\OpenCV\lib  
 を追加



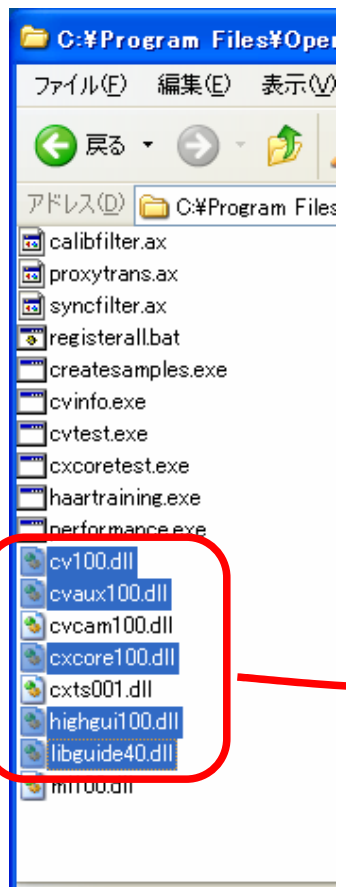


**〈手順〉**  
 以下の順で、設定してください。  
 “プロジェクト” “プロパティ”と進み ダイアログを開く  
 “リンカ”の“入力”を選択  
 次の4つのファイルを追加  
 cv.lib                    cxcore.lib  
 cvaux.lib                highgui.lib

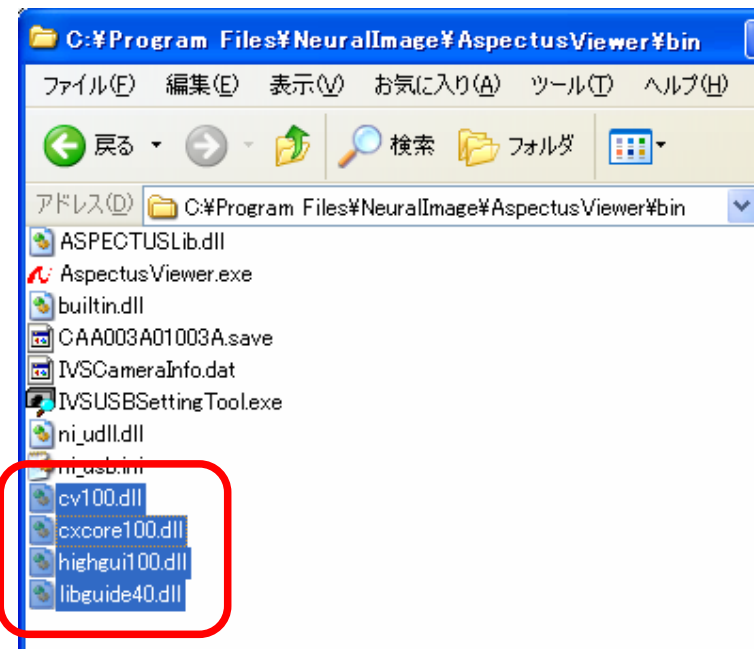


C:\Program Files\OpenCV\bin

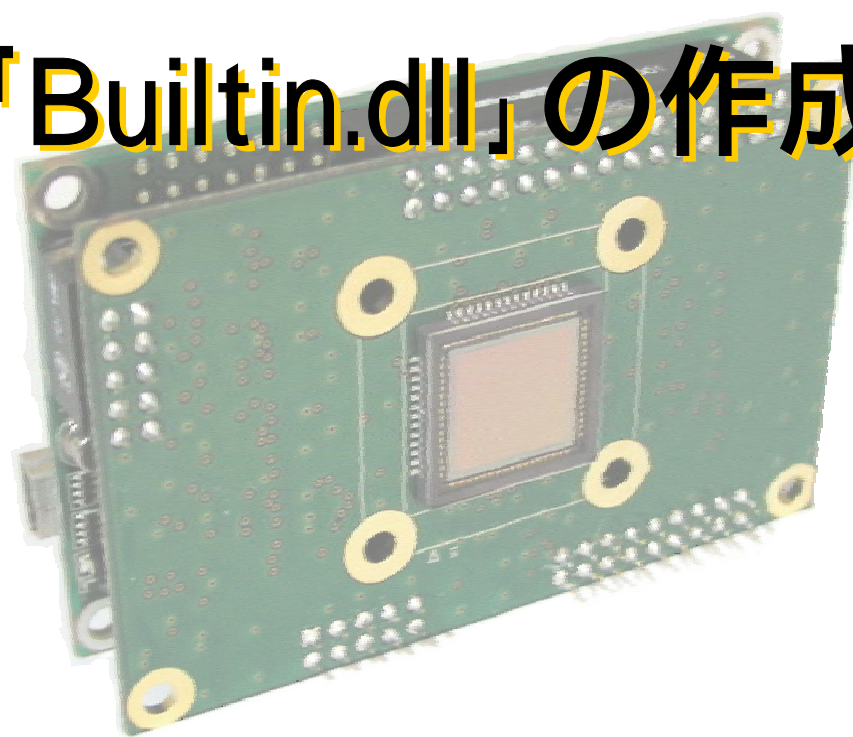
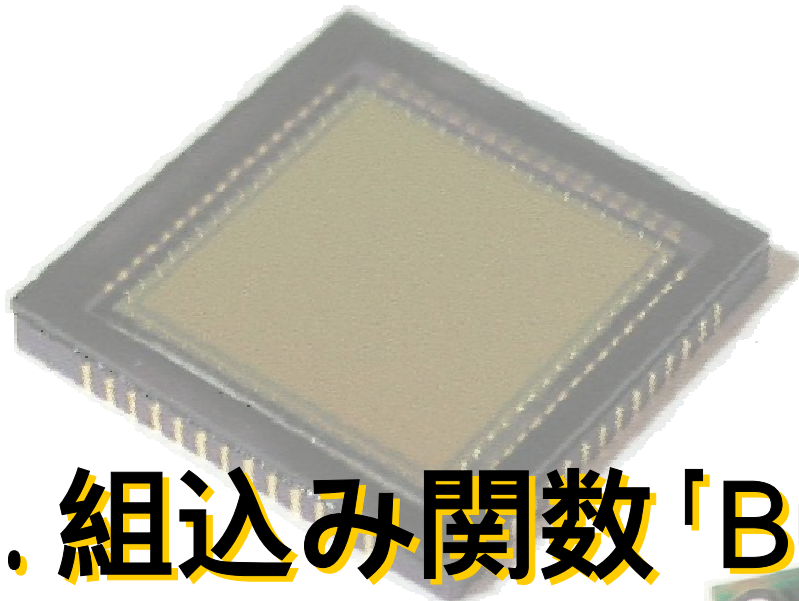
ASPECTUS Viewer の実行ファイルが有るフォルダ  
C:\Program Files\NeuralImage\AspectusViewer\bin



次の5つのDLLをコピー  
cv100.dll  
cvaux100.dll  
cxcore100.dll  
highgui100.dll  
libguide40.dll



# 3. 組み込み関数「Builtin.dll」の作成



**(手順)**

以下の順で、DLLを作成してください。

(株)ニューラルイメージのWebサイトからOpenCVとの組合せ用の「Builtin.dll」のサンプルプログラムをダウンロード

サンプルプログラムをVisual C++で開く

プロジェクトをビルドし、「Builtin.dll」を作成

*DLLは“Debug”もしくは“Release”フォルダ内に作成されます*

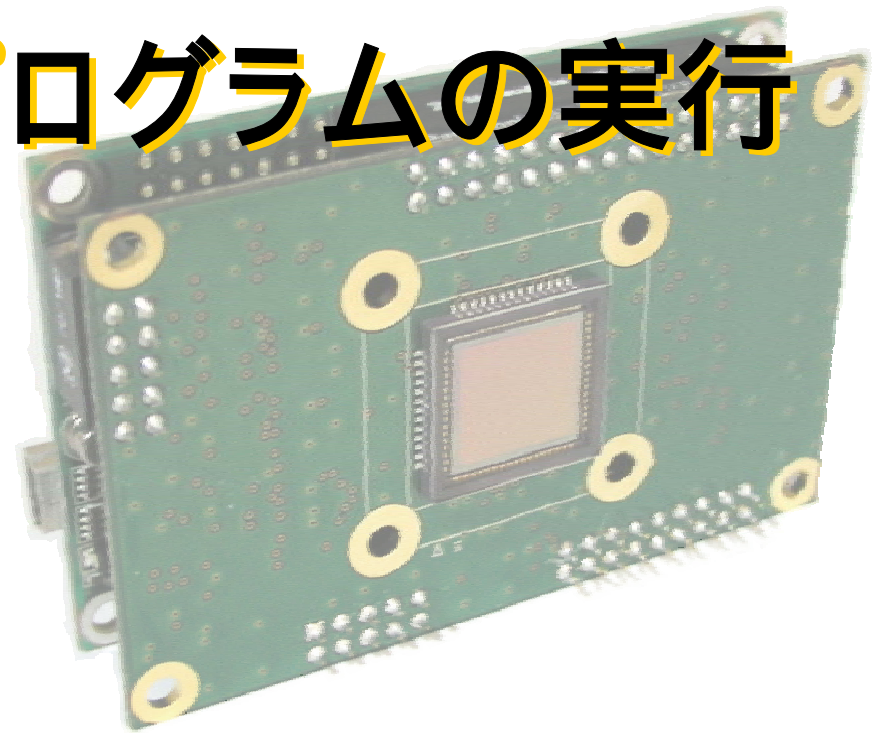
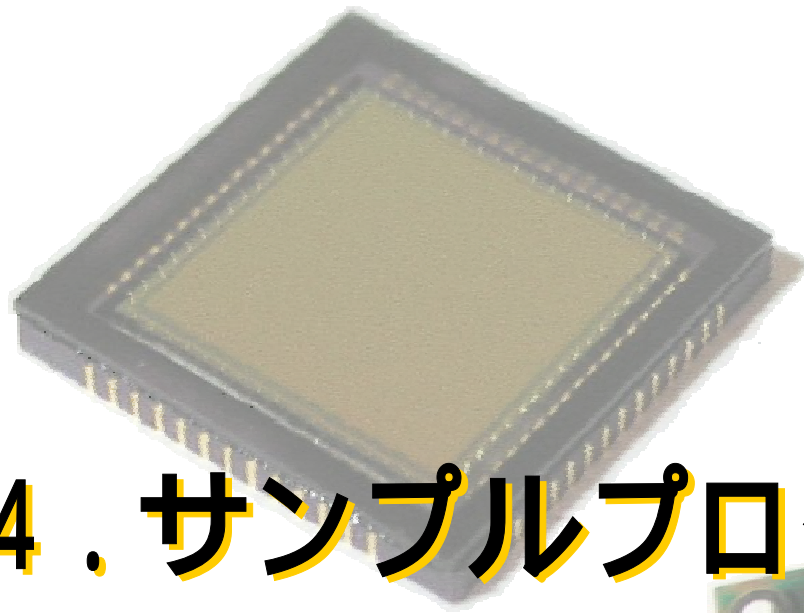
The first screenshot shows a file explorer window for the directory 'C:\tmp\sample2003'. The file 'builtin.sln' is selected.

The second screenshot shows the Microsoft Visual C++ IDE. The 'ビルド' (Build) menu is open, and the 'ソリューションのビルド' (Build Solution) option is highlighted. The code editor shows a C++ program with a loop that iterates over a 50x50 pixel area.

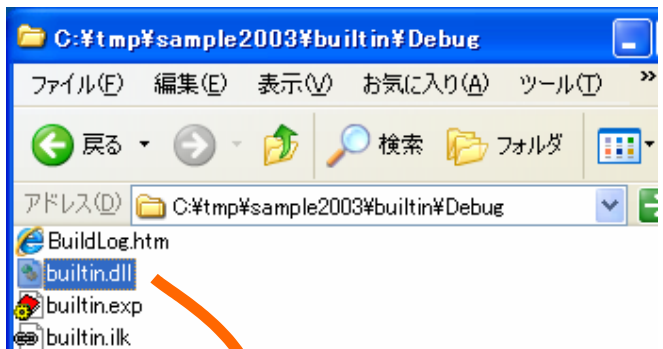
The third screenshot shows the '出力' (Output) window. The message 'すべてリビルド : 1 正常終了, 0 失敗, 0 スキップ' (Rebuild all: 1 successful, 0 failed, 0 skipped) is displayed, indicating that the build process completed successfully.

The final screenshot shows a file explorer window for the directory 'C:\tmp\sample2003\builtin\Debug'. The file 'builtin.dll' is highlighted, indicating that the DLL has been successfully built and is located in the 'Debug' folder.

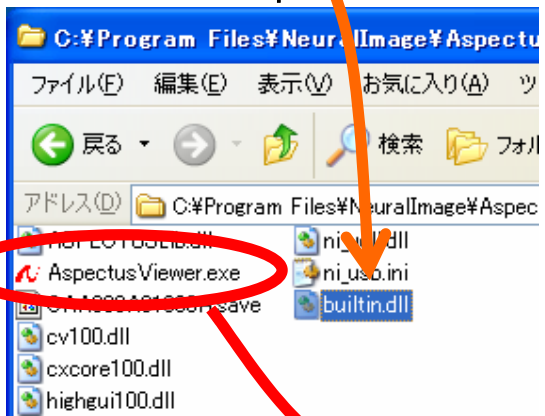
# 4. サンプルプログラムの実行



**〈手順〉**  
 以下の順で、実行してください。  
 作成した Builtin.dll を AspectusViewerのフォルダへコピー  
 センサカメラをPCに接続しているのを確認し  
 AspectusViewerを開き、映像を確認  
 下图の様に表示されれば成功



C:\Program Files\NeuralImage  
 \AspectusViewer\bin



このサンプルプログラムは、ASPECTUSの出力映像を OpenCVで開いたウィンドウに そのまま表示するプログラムです。

